



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社丸井グループ
コード番号 8252 URL <http://www.0101maruigroup.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 青井 浩
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 村井 亮介 (TEL) 03-3384-0101

四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	305,723	1.2	19,518	8.4	20,047	11.8	11,602	20.6
25年3月期第3四半期	302,023	1.5	18,012	21.7	17,937	26.4	9,621	151.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 15,068百万円(39.5%) 25年3月期第3四半期 10,805百万円(65.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	42.38	42.38
25年3月期第3四半期	35.15	35.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	663,189	314,482	47.4	1,147.20
25年3月期	624,173	304,051	48.6	1,109.33

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 314,057百万円 25年3月期 303,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		7.00		8.00	15.00
26年3月期		9.00			
26年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	413,500	1.5	27,000	11.2	28,000	14.5	16,000	20.7	58.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	318,660,417株	25年3月期	318,660,417株
期末自己株式数	26年3月期3Q	44,900,990株	25年3月期	44,948,289株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	273,760,350株	25年3月期3Q	273,712,934株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間は、政府の経済対策や日銀の金融緩和などにより景気は緩やかな回復を示し、個人消費にも一部に動きがみられましたが、物価上昇や消費税増税後の環境変化に対する警戒感などから本格的な消費マインドの改善にはいたらず、依然として不透明な経営環境が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、年代の枠を越えて幅広いお客様にご支持いただけるよう、お客様ニーズに基づきすべての事業の革新をすすめるとともに、「店舗・カード・Web」の三位一体型ビジネスをさらに推進し、経営資源を最大限に活用することで収益力の向上をめざしてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の連結売上高は3,057億23百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は195億18百万円（同8.4%増）、経常利益は200億47百万円（同11.8%増）、四半期純利益は116億2百万円（同20.6%増）と増収増益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

なお、報告セグメントの区分について、第1四半期会計期間より変更しております。

これまで小売事業では、より多くのお客様のご期待にお応えするため、仕入販売の強化とともに店舗の売場賃貸によりカテゴリーの拡大をすすめてまいりました。また、今後の事業展開においても商業施設としての店舗の魅力を最大限に高めていくうえで、売場賃貸によるテナント導入も積極的に推進してまいります。

一方、前期までの報告セグメントにおきましては、商品の仕入販売については「小売事業」、テナント等の賃貸収入については「小売関連サービス事業」と、一体運営している店舗でありながら損益を2つの区分に分けて計上しておりました。

したがって、事業の実態をより正確に表すため、従来「小売関連サービス事業」に含めておりました商業施設の賃貸および運営管理等に伴う損益を「小売事業」に加え、新たに「小売・店舗事業」として区分し直しております。

この変更に伴い、以下の前年同期比較につきましては、前年の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて比較しております。

(小売・店舗事業)

小売・店舗事業では「小売の革新」に取組み、年代を越えて共通するお客様のニーズや価値観にお応えするため、「おしゃれ×共通価値×値ごろ感」を基本コンセプトに、「店舗・カード・Web」を連携させた幅広いサービスの提供をすすめてまいりました。

まず、先行して取組んだ「商品の革新」では、基本コンセプトを具現化した新PB商品の「ラクチン」シリーズが好調に推移いたしました。展開型数の拡大や、お客様のご要望の多い値ごろ感のある品揃えを充実したことに加え、テレビCMなどの広告宣伝を強化したことにより、新PBの売上高は前年に対し1.8倍と高伸長いたしました。

次に「売場の革新」では、引き続き商品の特徴や機能性などをわかりやすく陳列、演出した売場づくりを推進するとともに、お取引先ショップとも基本コンセプトを共有し、共同開発商品の拡充をすすめてまいりました。

また、ネット通販では、上半期のシューズ専門サイトに続き11月にはバッグの新サイトをオープンい

たしました。自宅でご試着いただくためにシューズの配送料・返送料を無料化した「ラクチン便」、服とのコーディネートで選べる検索機能など、お客様のご要望に沿ったサービスを充実したことや、全国規模のプロモーションが奏功し、ネット通販の売上高は前年同期比4%増と伸ばいたしました。

さらに、「店づくりの革新」では、お客様と一緒に店づくりをすすめ、男女で気軽に楽しめる店をめざして、新宿マルイをリニューアルいたしました。「新宿マルイ 本館」には初めてメンズフロアを導入し、「新宿マルイ メン」では女性にもご利用しやすいギフト雑貨やイベントショップを充実いたしました。

このような施策により、客層の幅が広がったことで既存店のお買上客数は前年同期比5%増と好調に推移しましたが、前期に閉鎖した専門店の影響などにより、売上高は2,413億17百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

一方、利益面では、固定費の削減をすすめたものの、積極的なプロモーションによる広告宣伝の増加もあり、営業利益は70億93百万円(同4.8%減)となりました。

なお、このたび、初の九州地区進出となる福岡・博多駅前への出店が決定いたしました。開店は2016年春の予定で、これまでの様々な取組みの集大成として、地域の皆さまに末永くご愛顧いただけますよう、お客様と一緒に店づくりをすすめてまいります。

(カード事業)

カード事業では、ご利用客数・ご利用額の拡大をすすめてまいりました。

丸井店舗での入会促進に加え、独自の提携カードである「コラボレーションカード」など丸井店舗外での入会が着実に増加したことから、カード会員数は前年同期比8%増の527万人となりました。

お客様づくりの取組みでは、ゴールドカード会員の拡大をすすめてまいりました。人気公演や宿泊施設の会員優待、期間限定ポイントなどのサービス充実により、ゴールドカードの会員数は前期末から20万人増の77万人となりました。

また、丸井店舗では、申込書に替えてタブレット端末によるカード発行を開始いたしました。ペーパーレス化を通して入会審査が時間短縮され、店頭即時発行が拡大したことにより、個人情報の管理水準の向上と郵送費等のコスト削減が実現し、さらにカード利用率の向上に寄与いたしました。

このような施策により、外部加盟店でのご利用額は前年同期比26%増と引き続き高伸長し、リボ・分割払債権残高は1,532億円(前年同期比22%増)に拡大いたしました。

次にキャッシングにつきましては、取扱高が前年同期比11%増の949億円まで拡大したことから、営業貸付金残高は1,229億90百万円(前年同期比0.7%減)と前年の水準まで回復し、総量規制の影響による減少がほぼ底打ちいたしました。

この結果、営業債権残高は前年に対し344億円増加の3,272億円と過去最高を更新し、さらに、家賃保証や銀行ローン保証など関連ビジネスについても順調に推移したことから、カード事業の売上高は454億34百万円(前年同期比13.9%増)、営業利益は118億42百万円(同17.8%増)と2期連続の増収増益となりました。

(小売関連サービス事業)

小売関連サービス事業では、商業施設からの内装工事や広告制作などの受注が拡大したことなどにより、売上高は412億9百万円(前年同期比17.5%増)、営業利益は31億44百万円(同27.9%増)と2期連続の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は、前期末に比べ390億15百万円増加し6,631億89百万円となりました。これは主に、エポスカードのご利用客数の拡大や加盟店での取扱高の高伸長などにより割賦売掛金が330億16百万円増加したことや、投資有価証券が時価評価により47億61百万円増加したことによるものです。

負債合計は、285億85百万円増加し3,487億7百万円となりました。これは主に、有利子負債が167億4百万円増加したことや、買掛金が59億1百万円増加したことによるものです。

純資産は、104億30百万円増加し3,144億82百万円となり、自己資本比率は47.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点においては平成25年11月7日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,951	29,182
受取手形及び売掛金	6,190	5,601
割賦売掛金	171,187	204,204
営業貸付金	123,739	122,990
商品	19,334	22,971
その他	30,590	34,067
貸倒引当金	8,270	7,690
流動資産合計	372,725	411,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	68,741	67,011
土地	98,886	98,886
その他（純額）	5,421	5,993
有形固定資産合計	173,049	171,891
無形固定資産	6,476	6,485
投資その他の資産		
投資有価証券	22,602	27,364
差入保証金	39,069	37,606
その他	10,250	8,513
投資その他の資産合計	71,922	73,484
固定資産合計	251,448	251,861
資産合計	624,173	663,189

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,208	34,110
短期借入金	69,262	55,967
1年内償還予定の社債	-	20,000
コマーシャル・ペーパー	5,000	18,000
未払法人税等	1,726	6,610
賞与引当金	3,617	2,042
ポイント引当金	1,719	2,424
商品券等引換損失引当金	149	153
その他	23,046	28,537
流動負債合計	132,728	167,843
固定負債		
社債	82,000	82,000
長期借入金	87,500	84,500
利息返還損失引当金	11,158	7,538
その他	6,734	6,825
固定負債合計	187,393	180,863
負債合計	320,121	348,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,920	35,920
資本剰余金	91,307	91,307
利益剰余金	225,554	232,466
自己株式	53,889	53,832
株主資本合計	298,893	305,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,744	8,194
その他の包括利益累計額合計	4,744	8,194
新株予約権	25	26
少数株主持分	389	398
純資産合計	304,051	314,482
負債純資産合計	624,173	663,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	302,023	305,723
売上原価	191,538	190,663
売上総利益	110,485	115,060
販売費及び一般管理費	92,472	95,542
営業利益	18,012	19,518
営業外収益		
受取利息	108	95
受取配当金	403	397
償却債権回収益	557	830
固定資産受贈益	388	578
その他	280	179
営業外収益合計	1,738	2,081
営業外費用		
支払利息	1,401	1,340
その他	412	212
営業外費用合計	1,813	1,552
経常利益	17,937	20,047
特別利益		
投資有価証券売却益	189	-
特別利益合計	189	-
特別損失		
固定資産除却損	477	817
店舗閉鎖損失	2	162
固定資産見積変更差額	2,385	-
その他	62	72
特別損失合計	2,928	1,053
税金等調整前四半期純利益	15,198	18,994
法人税等	5,560	7,375
少数株主損益調整前四半期純利益	9,637	11,618
少数株主利益	16	16
四半期純利益	9,621	11,602

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,637	11,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,167	3,450
その他の包括利益合計	1,167	3,450
四半期包括利益	10,805	15,068
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,788	15,052
少数株主に係る四半期包括利益	16	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売・店舗 事業	カード事業	小売関連 サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	242,795	38,259	20,967	302,023		302,023
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,098	1,644	14,108	19,851	19,851	
計	246,894	39,904	35,076	321,874	19,851	302,023
セグメント利益	7,448	10,056	2,458	19,963	1,950	18,012

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,682百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 3,633百万円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の費用です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売・店舗 事業	カード事業	小売関連 サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	237,223	43,805	24,694	305,723		305,723
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,094	1,628	16,515	22,238	22,238	
計	241,317	45,434	41,209	327,962	22,238	305,723
セグメント利益	7,093	11,842	3,144	22,080	2,561	19,518

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,185百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 3,747百万円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の費用です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更し、従来「小売関連サービス事業」に含めておりました商業施設の賃貸および運営管理等に伴う損益を「小売事業」に加え、新たに「小売・店舗事業」として区分し直しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき組み替え表示しております。